

共生・公正・創造



ユニオン・EYE

<http://www1a.biglobe.ne.jp/jrtu-EWU>

ジェイアール東日本労働組合
〒108-0014 東京都港区芝5丁目33番36号
TEL(NTT)03-3453-2107 (JR)057-2290
発行者/今井 伸 編集者/平 憲治

“テロリストに乗っ取られたJR東日本の真実”

『週刊現代 - JR東日本革マル浸透問題告発 - 』

連載第16回

革マル派に支配された東労組は本当に怖い！！

『週刊現代』が、JR東日本の革マル浸透問題を連載記事で告発した。本紙は驚くべきこの事実をシリーズで紹介する。（JR連合民主化闘争情報号外より一部抜粋）

< 週刊現代2006年11月6日発売号 >

現役社員匿名座談会！

記者『今回の週刊現代の連載をどう受け止めているのですか？』

運転士『組合の役員に「週刊現代はでっちあげだから絶対に買うな」と言われました』

車掌『11月20日には、「週刊現代の連載による組織破壊を許さない」などと、異例の臨時中央委員会が大々的に開かれるらしい。ホント、この組合ってカルト宗教だ』

駅員『今回の連載で、松崎が数々の豪華別荘を持っていたことを初めて知って、さすがに腹が立ちました。それが僕たちの組合費で買ったものかと思うと、本当に許せませんね』

中堅キャリア『怒ってますよ。特に大塚会長、清野社長は。そもそもJR東日本に革マル派が浸透したのは、松崎とベッタリ癒着した住田元会長や松田相談役ら旧経営陣の責任。大塚・清野の二人には、住田・松田の癒着路線を改革して、松崎や東労組との距離もそれなりに取っているとの自負がある。ところが、週刊現代には住田、松田と一緒にされて『革マル派に支配されている』と書かれる。...7月19日に、池袋のホテルメトロポリタンで、旧国鉄、JR東日本OBと現役幹部の懇親会に出席した松田相談役は『週刊現代はJR東日本が立派な会社になったことを妬んでいる連中がやらせている。大したことはない。心配するな』と挨拶。JR東日本現経営陣のほとんどが、革マル派がわが社に浸透した最大の責任は、松崎と癒着した松田相談役にあると考えています。にもかかわらず、この挨拶でしょ。この人の能天気ぶりには、幹部全員が呆れ返ったそうです』

若手キャリア『われわれ、平成採用組からすれば、この機会に現経営陣に、旧国鉄分割民営化の宿痾ともいえる革マル派問題を解決してほしい。「世界最大級の公共交通機関」と胸を張れる会社にして欲しいというのが切なる願いなんです』

「テロリストに乗っ取られたJR東日本の真実 革マルに支配されたJR東労組は、ほんとうに怖い」と題するこの記事は、JR東日本の現役運転士、車掌、駅員、キャリアたちが、組合幹部の恐怖支配で自由な発言を封じられているJR東日本の社内事情を赤裸々に告発しています。

この機会に「革マル派問題」の解決に立ち上がろう！